

研究タイトル：

音声基礎知識が第二言語発話習得に及ぼす影響



氏名： 加藤 明子 / Kato Akiko E-mail: akato@fukushima-nct.ac.jp

職名： 准教授 学位： Ph.D.

所属学会・協会： Australian Linguistic Society 全国高等専門学校英語教育学会

キーワード： 音響音声学 国際交流促進(海外インターンシップ送り出し、留学生受け入れ)

技術相談
提供可能技術：
・第二言語習得論
・母音音響分析
・国際交流促進

研究内容： 音声学知識が英語発音に及ぼす影響

近年の英語教育では、発音記号や音声学の基礎、調音についての体系的な知識が必須項目から外れている。この研究では、上記の音声学基礎知識が学習者の英語発音に及ぼす影響を観察し、音声学知識の重要性について再検討する。

現在、パイロットスタディとして5人の日本人学生のデータを採取している。学生たちは、10時間程度の音声学基礎を学び、そのあと一か月間にわたってコンピュータを使用して発音記号と調音について、自己学習を行った。自己学習の前後に学生の英語の発話を録音し、母音を抽出した。自己学習によって、英語母音の音響特性、フォルマント母音の継続時間についてどのような変化が現れたかを検討する。2013年9月末に、第一回データ採集の集計を行い、音響分析を行う予定である。また、今後も継続的に学生たちのデータを増やしていく予定である。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	